

農林水産商工常任委員会資料

(令和4年12月2日)

項 目	ページ
■ とっとりSDGs企業認証「SDGs取組事例集」の作成等について 【商工政策課】……………	2
■ とっとりバイオフィロンティアの指定管理者の選定方法について 【産業未来創造課】……………	3
■ 伝統工芸品等の情報発信について 【販路拡大・輸出促進課】……………	4

商 工 労 働 部

とっとりSDGs企業認証「SDGs取組事例集」の作成等について

令和4年12月2日
商工政策課

本年7月に第1回認証を行った「とっとりSDGs企業認証制度」について、認証企業のSDGsの取組をまとめた「SDGs取組事例集」を作成しました。認証企業を通じての配布、SDGs関連イベントでの配布のほか、学生団体と連携した若者世代向けの広報活動等により、SDGs経営への関心喚起、制度及び認証企業の認知度向上に活用することとしています。

1 とっとりSDGs企業認証制度の概要

地域社会や自然環境を持続可能なものとしながら、将来にわたる事業継続・持続的発展を目指す県内企業の取組を、「社会」「経済」「環境」の3側面から評価して県が認証する制度で、企業を対象とするSDGs認証制度としては、都道府県単位では全国初。

認証対象	県内企業（県内に拠点を有し、主たる事業として営利事業を行う事業者）
審査項目	・SDGs実現に向けて目指す2030（令和12）年の姿 ・「社会」「経済」「環境」の3側面30項目についての現状認識と目標設定
認証期間	3年（更新可能）

令和4年7月に第1回認証企業27社を決定し、認証企業のSDGs経営実現に対して以下の支援を提供している。

- ・認証企業を対象とした低利融資 新規需要開拓設備資金「SDGs特別枠」
- ・SDGs経営の課題解決を支援する補助金 6件の事業を採択
- ・ビジネスマッチング支援 (独)中小企業基盤整備機構中国本部、三井住友海上火災保険(株)と連携
- ・分野ごとの専門家派遣の提供 環境マネジメント、セキュリティ対策、労務・法務・財務等

2 とっとりSDGs企業認証「SDGs取組事例集」の作成

認証企業の概要及びSDGsに関する特徴的な取組をまとめた事例集を、各認証企業と共同で作成。県ホームページでの公開、認証企業自身による配布や公共施設等での配架を行うほか、年内は以下のSDGs関連イベント等での配布を予定している。

【県民・事業者対象】

12/18(日)「とっとりSDGsフォーラム」(県立米子コンベンションセンター)

【就職活動中の学生等対象】

12/26(月)、28(水)「とっとり企業紹介フェア」

(東部：県立鳥取産業体育館、西部：県立米子コンベンションセンター)



3 学生団体と連携した若者世代向け広報活動の実施

鳥取大学・鳥取環境大学内でSDGs活動に取り組む学生団体と連携し、本事例集を活用した広報活動の実施を委託する。

※ 若者世代とSDGsとの関わり

若者世代、特にZ世代と呼ばれる10代後半～20代前半は、早くからSDGsの考え方に触れ、学んできているため、SDGsへの意識が他の世代より高いと言われている。就職活動においても、SDGsの取組の有無を企業選択の一つとする学生が増えているなど、企業が人材確保に取り組む上で、SDGsへの対応が重要なものとなりつつある。

学生のアイデアを活かして、学生自身が学生対象に広報活動を行うことで、効果的な制度及び認証企業の認知度向上につながる。

<実施期間> 令和4年11月下旬～令和5年1月末

- ・鳥取大学 鳥取県ユニセフ協会学生部 TORICEF (トリセフ)

(オリジナルSDGsカードゲームの開発をはじめとした普及・啓発活動を実施)

実施内容(予定)：PR動画の作成及び動画の構内での放映、SNS発信等

- ・鳥取環境大学 TUES地球環境を考える会

(こども向けワークショップ開催等、脱炭素・循環型社会推進のための啓発活動等を実施)

実施内容(予定)：ポスター作成、チラシ配布、認証企業を招いた取組紹介イベントの実施等

4 とっとりSDGs企業認証制度の第2回公募予定

第2回公募については、令和5年4月中に開始できるよう準備を進める予定としている。

とっとりバイオフィロンティアの指定管理者の選定方法について

令和4年12月2日

産業未来創造課

1月30日(水)に開催された令和4年度第2回県有施設・資産有効活用戦略会議の議論を踏まえ、とっとりバイオフィロンティアの指定管理者の選定方法について、以下のとおりとしたいので報告します。

1 施設名

とっとりバイオフィロンティア（所在地：米子市西町86番地（鳥取大学米子キャンパス内）

《施設概要》

- (1) 開設時期 平成23年4月1日
- (2) 設置目的 バイオ産業における新技術の研究開発及び実用化、専門人材の育成等を行うことにより、本県におけるバイオ産業の集積形成及び活性化を図り、県内産業の振興を図る
- (3) フロア概要
 - (1階) 研修室、オープンラボ
 - (2階) 共同利用実験室（機器分析、遺伝子実験等）
 - (3階) 貸居室、貸実験室、貸動物飼育室

2 指定管理者の選定方法

指名指定

※現在は公益財団法人鳥取県産業振興機構に指名指定

3 指名指定継続の理由

商工労働部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会による、指名指定の継続の適否についての検討を経て、以下の理由により指名指定を継続することとした。

(理由)

これまで本県と連携してバイオ産業の振興に取り組んできた実績や、県内企業の起業化支援、産学官のマッチング、人材育成等に取り組んできたノウハウ、知識等を有しており、同機構が当該施設を継続的に管理運営することで、効果的・効率的に施設の設置目的が達成されると期待できること。

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和5年4月～8月 指定管理者の選定手続き
- 令和5年9月 令和5年9月議会に指定管理者選定の議案を上程
- 令和6年4月 指定管理者による管理運営開始

【備考】県有施設・資産有効活用戦略会議の概要

○会議の趣旨

県有施設・資産を活用した官民連携（PPP/PFI）の積極的な活用や、県有施設・資産の適正管理、戦略的活用の方策などを検討するため設置

○構成員

副知事（座長）、各部局長、各総合事務所長、教育長、病院事業管理者、警察本部長

※H29年3月28日付けで「鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例」を改正し、公募せずに指定管理候補者を選定している公の施設については、審査委員会の意見を聴いて指名指定の継続の適否を検討することとしているところ。

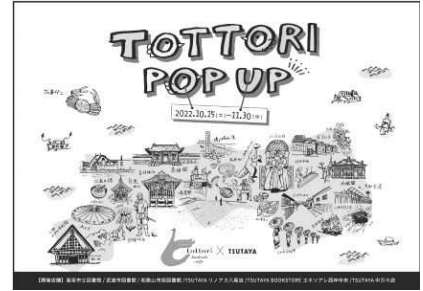
伝統工芸品等の情報発信について

令和4年12月2日
販路拡大・輸出促進課

本県の伝統工芸品等の情報発信により知名度とブランド力の向上を図る取組について報告します。

1 ととりの逸品をセレクトした「TOTTORI POPUP STORE」

- ・期間：10月15日～11月30日
- ・場所：西日本のTSUTAYA・蔦屋書店6店舗
大阪（TSUTAYA リノアス八尾店）、和歌山（蔦屋書店 和歌山市民図書館）、兵庫（TSUTAYA BOOKSTORE エキソアレ西神中央）、岡山（蔦屋書店 高梁市立図書館）、高知（TSUTAYA 中万々店）、佐賀（蔦屋書店 武雄市図書館）
- ・出品：陶磁器（玄瑞窯）、木工・竹工（ねっこ作業所）、因州和紙（かみんぐさじ、うかぶ LLC（和紙アクセサリー））、郷土玩具（信夫芸店）、食品（ハーブティー：大山スマイルファーム、珈琲：ふくべむら特産品本舗、和菓子：宝月堂、京屋菓舗、トラスト）
- ・内容：「日々の生活をちょっとステキにする」をコンセプトに、ととりの「てしごとの逸品」及び「食」の展示販売や関連する書籍の提案を行った。



2 コーヒーと鳥取の手仕事（東京・広島）

- ・会期：東京…10月29日～11月6日、広島…10月21日～10月30日
- ・場所：オブスキュラコーヒーロースターズ（東京都世田谷区、広島市）
- ・出品：陶器（牛ノ戸焼、福光焼、延興寺窯、大山焼久古窯）、木工（ドモク堂）、食品（山本おたふく堂、石谷製菓堂、福田養蜂場）
- ・内容：東京・広島のコーヒーショップにて、「コーヒーを楽しむひと時」をコンセプトに、陶磁器や食品を展示販売した。



3 SNSでの海外向け情報発信（フランス）

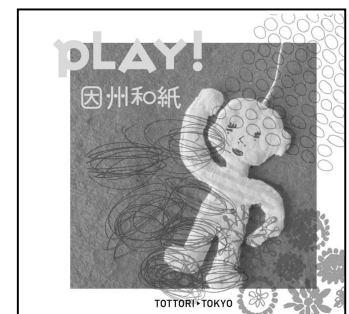
工芸品やその作り手、鳥取県の観光地としての豊かさを通じてフランスにおける鳥取県のイメージと認知度を向上させ、併せて鳥取県への誘客を図るため、インフルエンサーMamieboude（マミーブドウ）による現地取材、インスタグラムへの投稿・配信を通じて、広く情報発信を行った。

- ・取材日時：11月10日～11月12日 情報公開日：11月12日
- ・取材先：工房（陶磁器：延興寺窯、玄瑞窯、国造焼、福光焼、竹細工：仁人竹工房、ガラス細工：saonなど）、旅館（こぜにや、養生館、みたき園など）
- ・インスタグラムアカウント @mamieboude (<https://instagram.com/mamieboude?igshid=YmMyMTA2M2Y=>)



4 アートとのコラボ「PLAY! 因州和紙」展（東京）

- ・期間：12月12日～12月17日
- ・場所：とっとりおかやま新橋館（東京都港区）
- ・主催：鳥取県、鳥取県因州和紙協同組合
- ・出品：有限会社かみんぐさじ
株式会社中原商店（アートスペースからふるとコラボ）
- ・内容：アート素材としての和紙を提案。和紙の楽しみ方を展示・ワークショップにより広く一般の方に情報発信し因州和紙の認知度向上を図る。



【連動企画】「因州和紙展2022 ～伝統を未来へ～」（東京）

- ・期間：12月12日～12月17日
- ・場所：「小津ギャラリー」（東京都中央区日本橋、小津和紙2階）
- ・主催：因州和紙展実行委員会
（鳥取県因州和紙協同組合、各地区手すき和紙保存会等で構成）
- ・出品：伝統的原材料・技法による和紙を素材とした各界アーティストの作品展示、「因州筆切れず」・地元産原材料紹介等により、伝統工芸品としてのブランドイメージ向上を図る。

